

——ハイパーコネクティビティのための情報通信技術小特集（英文論文誌 D）論文募集——

ハイパーコネクティビティのための情報通信技術小特集編集委員会

電子情報通信学会は、情報・システムソサイエティの英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems の 2024 年 4 月号において、ハイパーコネクティビティのための情報通信技術小特集（Special Section on Information and Communication Technology to Support Hyperconnectivity）を掲載致します。本小特集は、タイトルに関連する分野の幅広い研究分野の未発表オリジナル論文を募集します。

人々は集団で協力するために、合意し共創することで、新しい道具、アイデア、社会システムを発明し進化を遂げてきた。人々間の合意や共創の理論、モデル、シミュレーション、その応用は、学際的かつ根源的なテーマである。近年、インターネットやソーシャルネットワークの劇的な発展により、人々のコミュニケーションの在り方自体が変化している。世界中どこにいても、瞬時につながっている状況が実現されている。これはハイパーコネクティビティと呼ばれ、人類が誕生以来初めて直面する状況であり、ハイパーコネクティブな状況での、合意や共創を探求することが極めて重要である。

このような科学技術分野の融合・統合を前提とした最新の情報通信分野は、ゲーム理論、意思決定、人工知能、マルチエージェント、シミュレーション、協調作業支援、Web 情報学、知識科学、サービス科学、バーチャルリアリティ、ヒューマンコンピュータインタラクション、発想支援、デザイン学、コミュニケーション科学、教育工学、センサーネットワーク、ロボット工学などの新分野、新技術が次々と産み出され、更なる融合・統合が加速化しているといえる。このような認識のもと、多分野、多技術を融合・統合しつつ、情報通信技術を活用して、人間の協力・調和、あるいは創造的能力を促進する仕組みを理解し、更に高めるための理論、基盤技術、及び応用技術に関する研究小特集（2024 年 4 月号掲載）を企画する。

1. 対象分野

情報通信技術を活用した人間の協力・調和、あるいは創造的能力の支援に関する以下の分野を対象としますが、それに限定しません。

- ・大規模データ処理及び機械学習
- ・知識科学・知識工学・知識表現
- ・集合知及び創造的知性
- ・社会課題を解決するシビックテック
- ・オンライン会議システム
- ・協調作業支援
- ・知識／技術経営支援システム
- ・サービス／イノベーション経営支援システム
- ・ロボット工学・メカトロニクス・ハプティクス技術
- ・センサーネットワーク・知的無線システム
- ・画像処理・CG・バーチャルリアリティ
- ・エージェントシミュレーション
- ・Web インテリジェンス
- ・教育工学
- ・知的インフラストラクチャ制御
- ・データ可視化及びインタフェースデザイン
- ・発想支援システム及び意思決定システム
- ・人間言語技術及び自然言語処理
- ・オントロジー及びセマンティック・ウェブ
- ・知的 ICT システムに関する評価
- ・その他、関連する人工知能・計算知能

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の英文論文と同一とします。
- ・ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照

下さい。

- ・査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

- ・Web による電子投稿のみ受け付けます。 https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。
- ・初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [\[Special-IH\] Information and Communication Technology to Support Hyperconnectivity](#) を選択して下さい。 [\[Regular-ED\]](#) を決して選択しないで下さい。
- ・Web による電子投稿の際、“Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, and Notices from the IEICE, and Privacy Policy”に承諾して頂きます。

4. 論文投稿締切日 2023 年 5 月 1 日（月） 23：59（厳守）

5. 問合せ先

羽山徹彩 長岡技術科学大学工学研究院
TEL [0258] 47-9901
E-mail : t-hayama <at> kjs.nagaokaut.ac.jp

6. 小特集編集委員会

編集委員長 松尾徳朗（産業技術大学院大）
編集副委員長 橋本喜代太（Prince of Songkla University）、羽山徹彩（長岡技科大）、山下倫央（北大）
編集委員 蟻坂竜太（京大）、Vijay Kumar Banga（Amritsar Group of Colleges）、谷 文（北陸先端大）、Rafik Hadfi（京大）、Natsuda Kaothanthong（SIIT, Thammasat University）、加藤昇平（名工大）、Nongnuch Ketui（Rajamangala University of Technology Lanna）、Sanparith Marukatat（NECTEC）、三浦元喜（千葉工大）、Hung Duy Nguyen（SIIT, Thammasat University, Thailand）、伊藤孝行（京大）、國藤 進（北陸先端大）、奥原 俊（三重大）、大沼 進（北大）、大塚孝信（名工大）、白松俊（名工大）、Virach Sornlertlamvanich（SIIT, Thammasat University）、Thepchai Supnithi（NECTEC）、Nattapong Tongtep（Prince of Songkla University）、Sasiporn Usanavasin（SIIT, Thammasat University）、打矢隆弘（名工大）、Thanaruk Theeramunkong（SIIT, Thammasat University）、Thaweesak Yingthawornsuk（King Mongkut”s University of Technology Thonburi）、由井蘭隆也（北陸先端大）

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含む全ての著者は、論文が採録となった場合、2023 年 12 月頃に掲載料をお支払い頂くこととなります。2024 年 1 月 15 日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- * 投稿者に非会員が含まれている場合には、この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合、非会員掲載料が適用されます。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。入会の案内はこちらを御覧下さい。

https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html

- * オープン化：2008 年 1 月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌 D の論文は、J-STAGE を通じて全世界の読者へ公開されています。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transinf>